

当院における大腿骨近位部骨折の治療に際して、受傷後 48 時間以内の早期手術を妨げる要因の検討

1. 研究の対象

2021年1月1日から2021年12月31日の間に、当院で治療したすべての大腿骨近位部骨折患者さん

2. 研究目的・方法

かねてより大腿骨近位部(股関節)骨折は受診後より早期に手術を施行することの重要性は指摘されており、当院整形外科も可能な限り早期に対応するよう心がけてきました。しかしどうしても早期手術を行うことが難しい症例があることも事実で、患者さんの安全を担保した上で早期に手術を行う必要があります。大腿骨近位部骨折を早期に手術するために必要な要因は何か、また早期に手術することを妨げる要因は何かについて、大腿骨近位部骨折の治療を受けた患者さんの診療記録を振り返ることによって明らかにしたいと思います。早期に手術することを妨げている要因が何であるかが明らかとなれば、その解決策を立案することができ、それに基づいて受診から手術までの医療を進めれば安全で画一的な早期手術を提供することが可能になります。

研究の対象となる患者さんは 2021 年に当院で治療を受けた大腿骨近位部骨折の患者さんで、研究が許可された日から電子カルテより情報の収集を行い、2023 年 3 月末日までに終了する予定です。

3. 研究に用いる情報の種類

大腿骨近位部骨折で治療を受けた患者さんの診療記録から次の情報を収集します。

情報: 年齢、性、受傷日・受傷時間、当院受診日・受診時間、転院・退院日

受診時に聴取した既往歴、バイタルサインのデータ、血液生化学検査データ(D ダイマー、BNP、CRP、HbA1C、eGFR)、血液ガス分析データ(PO₂、SpO₂)等

入院から手術までに実施された生理検査データ(心エコー、ECG、下肢血管エコー)、転倒リスクアセスメントスコア、認知症評価、他科依頼の内容ならびに耐術能に関するコメント、(栄養に関する情報)、輸血実施の有無、BMI、食事摂取時の課題の有無、褥瘡スコア

手術に関する患者情報: 手術開始時間、麻酔方法、術後即時荷重の可否等

患者氏名、患者番号から診療記録を探索しますが、収集したデータからは患者氏名、患者番号を削除して保存・管理します。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、

研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒438-8550 磐田市大久保 512-3 磐田市立総合病院 整形外科

電話 0538-38-5000

研究責任者 磐田市立総合病院 整形外科 山崎薫